

平成 30 年度 ひばり認定こども園自己評価結果

1. 教育・保育の目標

園児一人一人に応じた教育・保育を一体的に行い、心身ともに健康で明るく、たくましい子を育てる。

■ 目指す子どもの姿

- げんきにあそぶ子
- あいさつのできる子
- おもいやりのある子
- じぶんのことはじぶんでできる子

2. 重点的に取り組む目標・計画

- 安全教育の徹底と基本的な生活習慣の形成に努める。
- 地域の施設や自然を積極的に活用する等、園内外における活動を強化し、人や自然を愛する心を育てる。
- 教員研修の継続的実践と資質の向上を図る。
- 幼小連携活動に積極的に参加し、小学校への移行がスムーズに行えるようにする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
認定こども園教育・保育要領に基づき、園児の実態に即した指導計画が作成されている。	B	園内研修等において見直しを行い、本園の園児の発達段階に応じた指導計画の作成を行った。
指導計画により、計画的に教育・保育が行われている。	B	各自、人事評価においても具体的な目標を持ち、達成に向けて計画や評価・改善がなされ、計画的に教育・保育が実践できた。
教育・保育に適切な環境が構成されている。	A	29年度に引き続き、年齢に即した環境構成の大切さを再確認し、30年度も園内研修において「手作りおもちゃを通して環境構成を考えていく」と研究テーマを設定し、職員間で情報を共有しながら教育・保育を進めることができた。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導が行われている。	B	子どもの生活リズムに配慮し、一人一人に応じた援助を心がけ、生活習慣の定着に向けての指導を行った。
職員の資質向上に係る取組について	B	園内研修や公開保育を行ったりすることで、保育の見直しや検討を行い、自分自身の保育を振り返ったり職員間で情報を共有したり専門性を高め合い、資質向上に繋げていった。
幼小連携に係る取組について	A	こ小中連携会議への参加や学校訪問、園訪問、のびのび発達訪問等で小学校との情報の共有を行い、円滑な接続を図った。

安全管理の取組について	B	避難訓練や交通安全教室の定期的な実施及び施設内外の点検を行い安全管理に取り組んだ。
子育て支援事業について	B	保育参観や個人懇談、幼児教育学級、親子読書教室等を実施した。
情報の公開・発信について	B	ホームページの開設により毎日の給食を掲載したり、適宜クラスの活動の様子や行事等の発信をしたり情報の公開を行った。また毎月園だより、学期ごとにクラスだよりの発行を行った。保育参観・クラス懇談を年2回実施した。

※評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
保育教諭の資質向上	園内研修や公開保育を実施し、職員間で共通理解をすると共に、外部の研修会にも積極的に参加し資質向上を図る。
保育の充実	職員間で検討し連携を取り合い、保護者から信頼が得られるように努める。
情報の発信	ホームページや園だより等で園の情報を発信したり、一斉メール送信をしたり、保護者との連携が図れるようにする。

平成31年3月29日

評価者

那珂川町立ひばり認定こども園

園長 永森 あつ子